

技能実習生・研修生統計 2010年5月末分

(JITCO 業務統計速報)

財団法人国際研修協力機構 (2010年7月5日作成)

《ポイント》

- 平成22年5月のJITCO支援技能実習生・研修生は2,062人、対前年同月比43.1%減。先月の対前年同月比(73.7%減)に比べれば減少幅はやや改善。
- 平成22年5月の技能実習移行申請者は3,171人。対前年同月比は、全体で41.5%減の大幅減。国籍別では中国、産業別では繊維・衣服製造関係が最も多く、それぞれ2,374人と849人。

結果の概要

【JITCO支援技能実習生(1号)・研修生(総数・性別・国籍別)】→表1、図1

- ・ 全体のJITCO支援技能実習生(1号)・研修生数は2,062人、対前年同月比で43.1%の減となった。この要因として、厳しい経営環境が継続していることに加え、4月以降は、7月1日の改正入管法施行に伴う在留資格認定証明書交付申請書式・提出書類の変更及び、監理団体側の職業紹介事業の許可申請・届出の遅れ等一時的なものが挙げられるが、JITCOとして新制度対応の実務者講習会を全国各地で開催している他、職業紹介事業に係る許可申請・届出は順次進行してきており、これら一時的要因による減少幅は縮小してきている(対前年同月比4月73.7%減、5月43.1%減)。
- ・ 国籍別では中国が1,677人で最も多いという基調は変わらない(全体の81.3%)。対前年同月比で全体として大幅減となる中、インドネシアだけは大幅増(72.3%増)となった。

【JITCO支援技能実習生・研修生(受入れ形態別・点検実施状況別)】→表2

- ・ 受入れ形態別では、団体監理型1,877人(全体の91.0%)、企業単独型185人(全体の9.0%)であった。対前年同月比で見ると、団体監理型と企業単独型の減少幅はほぼ同じ。(団体監理型43.3%減、企業単独型は41.5%減)。
- ・ JITCOの点検実施状況(人数ベース)については、「資格変更」が最も多く4,375人(対前年同月比では7.2%増)、次いで「入国」が2,062人(対前年同月比では43.1%減)となった。

【技能実習移行申請者(総数・性別・国籍別)】→表3、図2

- ・ 技能実習移行申請者数(総数)は、企業数ベースで1,214企業(対前年同月比37.4%減)であり、人数ベースで3,171人(同41.5%減)となった。対前年同月比で41.5%減は、2001年4月以降では最大の下げ幅。この要因としては、昨年同期の入国申請者数の落ち込み(対前年同月比38.6%減)が挙げられる。
- ・ 性別では男性1,347人(全体の42.5%)、女性1,824人(全体の57.5%)となった。対前年同月比で男性が44.2%減であるのに対し、女性は39.3%減である。
- ・ 国籍別では、中国は2,374人(全体の74.9%)、次いでベトナム302人、フィリピン224人となっている。

【技能実習移行申請者(産業・職種別)】→表4、図3

- ・ 技能実習移行申請者を産業別に見ると、繊維・衣服製造関係が849人と最も多いが、対前年同月比では30.0%減であった。対前年同月比では8ヶ月連続増加が続いていた農業関係が初めて減少傾向に転じた(26.9%減)。機械・金属製造関係では9ヶ月連続減少が続いている(62.5%減)。

図1 JITCO支援技能実習生・研修生移行申請者数の推移

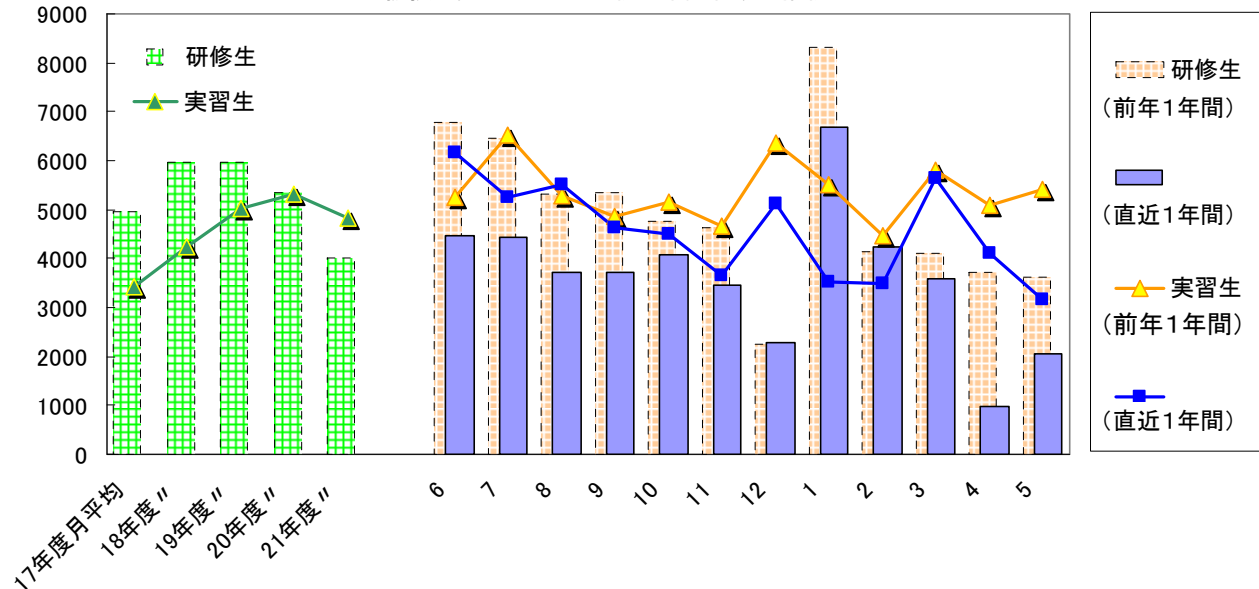


図2 国籍別 技能実習生移行申請者数

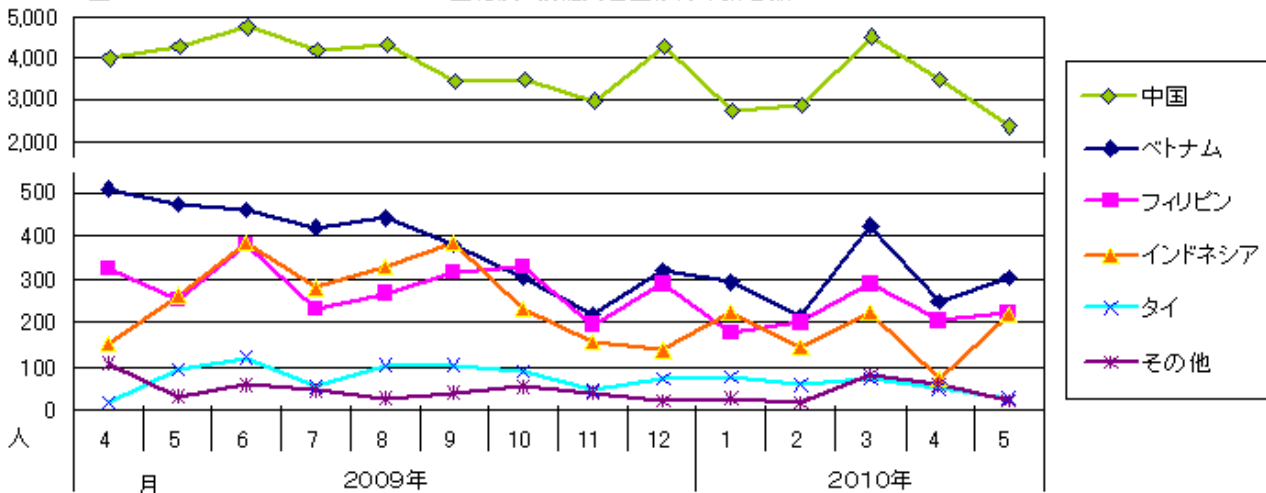


図3 産業・職種別 技能実習移行申請者数

